令和4年8月25日 No. 28 文章 核長 節久保一男

「カッコイー」2学期を

年間でいちばん長い2学期がスタートしました。夏から冬へと季節も大きく変わる中で、子どもたちが大き く成長できるよう教職員全員で取り組んでまいりますので、1学期同様ご理解・ご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染症の山梨県の1日の感染者が連日1,000人を超える中での2学期のスタートとなりました。これまで同様(またはそれ以上)に感染防止対策をしながらの2学期になります。県や市のご指導も受ける中で、子どもたちの健康・安全を第一に考えていきます。

2学期の始業式で、子どもたちに向けた校長の話の概要です。

今日から2学期が始まりました。2学期は1学期よりもさらにいい学期となるようにがんばっていきましょう。2学期は1年間の中でも、一番長い学期です。これから秋を迎え、2学期の終わりには冬になります。季節が大きく変わる中で、小笠原小の皆さんが大きく成長することを期待しています。

※感染症対策についての話もしましたが割愛します。

今回は、出会ってほしい怪獣を2つ紹介します。





一つ目の怪獣です。この怪獣を考えてくれたのは6年生の河野響己さんです。 【カンガえルー】といいます。授業中はもちろん、いろいろな活動や毎日の生活の中で、よく考える習慣、よく考えて行動する習慣を身に付けましょう。一番気になるのは、よく考えないで言ってしまったり、行動してしまったりすることです。1 学期のいじめ調査のアンケートに「嫌なことを言われる」「嫌なことをされる」という回答がありました。小笠原小の皆さん全員が、毎日、気持ちよく過ごせるよう、よく考えることが大切だと思っています。人のことを考えることは、皆さんだけではなく、世界中のすべての人にいえることですね。

もう一つの出会ってほしい怪獣は【**イカす**】です。<u>この怪獣を考えてくれた</u>のは6年生の中込優斗さんです。よく考えてできたこと、考えないで失敗してしまったっこと、それぞれあったと思いますが、それを次に「生かす」ことが必要です。まず、夏休みを振り返ってみてください。夏休み前の目標が達成できましたか。できた人は、次の目標の達成のためにそれを生かしてください。できなかったという人は、その反省を次に生かしてください。

間もなく運動会の取り組みが始まります。運動会の取り組みをしたあとには、 ぜひ振り返りをしてください。そしてその振り返りを次に生かしてください。 また、1時間の授業を大切にするためにも振り返ることが大切です。自分を振

り返ることができる人は、うまくできたことを生かすことができる人です。逆に、うまくできなかったことは、次に生かすことができる人です。長い2学期ですが、1日を大切にして、その日の振り返りをして、それを次に生かして、自分を成長させていく2学期にしましょう。

7月14日 Yahoo ニュース (まいどなニュース) の記事です。 紙面のスペースの関係で前半部分を抜粋して掲載します。

「『麦茶』じゃなくて『麦茶入れてください』でしょ」とか「ありがとうは?」とか,口うるさく言い過ぎ たかな…と考えた時期もあったけど、先日、よその子に「何か飲む?」と聞いたら顔も向けずに「コーラ」 と言われ、コーラを渡したらゲーム片手に無言で取られたときに「間違ってなかったな」と感じた。

という Twitter の投稿が話題になりました。親が子どもに教えること,伝えることはたくさんあります。 そのひとつが、人に対する言葉遣いや礼儀です。家庭によって、その教え方に温度差があるため、「あれ?」 「うちではこういうとき、ありがとうって言うんだけどな」などよその子に違和感を抱くこともあります。 その思いを Twitter で吐露すると、さまざまな声が集中しました。

子育て中と思われる人からの共感が多くありました。

- ・口うるさいかなって考えていたけど、我が子がよその家で「~ください」とか「ありがとうごさいま す」と言わずにいたら嫌だ!嫌すぎる!
- ・「ママー!お茶!」と言われたら「お茶が何?」と聞き返します。こういうのはクセになる ので絶対直した方がいいと思います。
- ・うちも同じように言い聞かせていて、言わせているみたいでいいのかなと思うことがある んですけど、ちゃんとしつけとして続けようと思いました。
- ・幼少期に身につけた習慣は、一生その子を助けてくれます。
- ・そういう親の意識や言葉は子どもの中に貯金のように貯まって「資産運用」されます。

また、成長後の姿を伝えるものもありました。

- ・自分の親は勉強には口出ししなかったのですが、礼儀や感謝を言葉にすること、言葉遣いなどは厳し く教えてもらいました。今ではとても感謝しています。
- ・24歳の息子から「俺を厳しく指導してくれてありがとう。敬語に全く困らず、どんな年代の人とも 話せる」と言われます。

苦労した経験を打ち明ける人もいました。

- ・小学校低学年のころ、友達の家にお邪魔したけど、後日、飲みものを出した際にいただきますを言っ てなかったねと指摘され、ショックを受けました。礼儀を教えるのは本人が恥をかかないためです。
- ・自分は「ありがとう」を言えない子どもで、高校生くらいになってから友達がいなくなった。働き始 めてから先輩たちに「ここはありがとうって言おうよ?」と厳しくしつけられた。しんどかったので、 小さいころのマナーの教育は羨ましい。

共感の一方で, こんな声も届きました。

- ・「ありがとう」や「ごめんなさい」の強制は,心ない子どもを育てるだけ。 大人に忖度する子どもをつくるだけ!
- ・ゲームに集中していたから、その子は精一杯で、コーラと一言で伝えたのかも。

「おーいお茶」って量が たくさん入っているの?

私からのお願いとして, 令和2年度校長通信 No.19, 令和3年度校長通信 No.4に 似た内容を掲載しています。校長通信(飯久保作成のもの)は、令和2年度 No.1~ 本号まで全てを本校ホームページ【学校だより】のページにアップしてあります。

